

平成26年度 第2回自殺対策に係る民間団体交流会・研修会

子供たちの命を守るために、手をつなごう

平成25年度に全国の小中高から報告があった児童生徒の自殺者数は、前年度より45人増加し、240人にもなっています。(文科省の問題行動調査より)

また、平成26年版自殺対策白書によると、学生・生徒等の自殺の原因・動機別状況をみると、学校問題、健康問題、家庭問題の順に多くなっています。

今回の交流・研修会では、教育現場のゲートキーパー育成に深く関わっている阪中先生を講師に講演をいただくとともに、パネルディスカッション、交流等を企画しました。この企画が、関係者の連携した取組の一助になればと思います。

- ・ 日 時：2014年12月7日(日) 13:30～17:00
- ・ 場 所：ユートリー（八戸駅直結）大会議室
- ・ 参加対象：社会福祉関係、教職員・PTA関係、労働関係、関心のある市民
- ・ 参加費：無料

□ 第一部 (13:30～14:45)

◇開会の挨拶 青森いのちのネットワーク 会長 大竹 進

**特別
講演**

「児童・生徒の自死を防ぐために」

阪中 順子 先生 (四天王寺学園小・中学校)



◆講師プロフィール

元奈良県公立小・中学校教諭 (～2011年3月)

四天王寺学園小学校教諭 カウンセラー (2011年4月～)

四天王寺学園小中学校 カウンセラー (2014年4月～現在に至る)

臨床心理士 学校心理士

文部科学省「児童生徒の自殺予防に向けた取組に関する検討会」委員

(2006年8月～2007年3月)

文部科学省「児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議」委員

(2008年3月～現在に至る)

日本自殺予防学会評議員

(2008年4月～現在に至る)

□ 休憩 10分 (14:45～14:55)

□ 第二部 パネルディスカッション、交流 (14:55～16:05)

コーディネーター 大竹 進 (青森いのちのネットワーク会長)

◇報告1 渡邊直樹先生 (前青森県精神保健福祉センター所長・精神科医) (14:55～15:25)

◇報告2 田端深雪先生 (八戸市立鮫中学校・養護教諭) (15:25～15:55)

◇報告3 鳴海敏之さん (みちのくエンカレッジの会代表) (15:55～16:05)

□ 休憩 5分 (16:05～16:10)

□ 講演・報告に関する質疑応答および団体紹介等 (16:10～17:00)

◇閉会の挨拶

交流会終了後17時30分
より懇親会(裏面参照)
があります。

主催／青森県 青森いのちのネットワーク (A-IN)

A-IN事務局 青森市松原1-2-12 青森県保険医会館気付 電話 017-722-5483

第2回自殺対策に係る民間団体交流会・研修会 参加申込書 (しめきり 12月2日) 個人の参加もできます

申込受付 青森いのちのネットワーク事務局 葛西弘和 行き
(つがる市精神保健福祉ボランティア「エールの会」)

TEL・FAX 0173-42-4373
E-mail h-kasai@d6.dion.ne.jp

ふりがな	ふりがな
団体名	担当者氏名
住 所	(〒 -)
連絡先 電話番号	
E-mail	
交流会参加者氏名	

懇親会について

青森いのちのネットワークでは、各団体が一層の連携ができることを願い、
交流会終了後の懇親会を用意しました。
楽しい時間を過ごしましょう。皆様のご参加、お待ちしております。

場 所：レストラン ユートリープラザ (交流会場の2階です。)

懇親会参加費：3,000円 (交流会の受付でお支払いください。)
当日数名の受け付けは可能です。

開 始：17時30分より

懇親会参加者氏名		

団体紹介のお願い

参加団体の紹介資料を、当日のレジメにとじたいと思います。
団体紹介していただける場合は、A4、1枚程度にまとめて申込受付事務局葛西に送ってください。様式は自由です。
メール、印刷物での郵送、FAXどちらでもいいです。紹介文は、白黒印刷になります。
不明な点は、事務局にお問い合わせください。よろしく申し上げます。